

植林ボランティアツアーにおける 「環境セミナー」 講演内容一覧

NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会

2009	<ul style="list-style-type: none"> 森林資源の無限の利用の諸問題 チョウセンゴヨウの樹下植栽から学んだ森林再生ポイント 	シュクトコ V. V. (太平洋国立大学教授) 本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問)
2010	テーマ「植林活動分野に於ける日露の協力について」(ハバロフスク日本センター共催) <ul style="list-style-type: none"> 植林活動分野に於ける日露の協力の発展について 自然の森林を楽しむ学ぶエコツーリズムそして森林の修復に挑む 	カシノーヴァ R. K. (太平洋国立大学) 本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問)
2011	テーマ「森林利用の新しい時代へ」 <ul style="list-style-type: none"> 極東地域におけるトドマツ・エゾマツ森林の管理概念 極東地域のチョウセンゴヨウ ハバロフスク地方における持続可能な森林利用の方法の一つとされる材木原料の合理的利用 日本の私立大学の植林活動 新しい森林の利用 森林利用のあり方と土砂水理学 	リャブヒン P. B. (太平洋国立大学教授) ヴィヴォドツェフ N. V. (太平洋国立大学教授) マイオロワ L. P. (太平洋国立大学准教授) 長島 昭 (慶応義塾大学名誉教授) 本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問) 新井宗之 (名城大学准教授)
2012	テーマ「タイガの主 チョウセンゴヨウ」 <ul style="list-style-type: none"> アムール川の保存の方法であるチョウセンゴヨウマツ林の復活 植栽されたチョウセンゴヨウの生長 森の主は？-ボルネオ島 東カリマンタン州において- 美しい日本の自然と地震・津波・原発事故 エコロジーの考えに基づいた木材調達：基本方針と発展の背景 	ヴィヴォドツェフ N. V. (太平洋国立大学教授) 小林亮介 (太平洋国立大学) 本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問) 長島 昭 (慶応義塾大学名誉教授) アブソフ A.V. (太平洋国立大学)
2013	テーマ「サクラ・プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> サクラに関するレポート 寒冷地における樹木の順応性 常緑のチョウセンゴヨウとサクラを組み合わせたハバロフスクのランドスケープ 	オブホフ V.O. (太平洋国立大学) 本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問) 藤田良子 (園芸家)
2014	<ul style="list-style-type: none"> 植物・土壌の状態の変更と浮遊物質の変動 ハバロフスク市における桜の順応性に関する科学研究の結果 先年に植えたチョウセンゴヨウの成長の研究の結果 ハバロフスク地方の森林や水資源による日本の動植物に対する影響 	モリナ O. M. (太平洋国立大学) オブホフ V.O. (太平洋国立大学) 小林亮介 (太平洋国立大学) 畠山重篤 (国連フォレストヒーロー)
2015	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性と遺伝子保全に必要な実生苗生産の基礎となる種子の貯蔵 ハバロフスク地方におけるNPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会の活動 	本江一郎 (ボルネオタラカン大学顧問) 安藤栄美 (NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会理事長)
2016	テーマ「森林環境をとりまく諸問題」 <ul style="list-style-type: none"> アジア太平洋諸国における現在の環境の中の鳥類学上の諸問題 沿アムール地域の大会の鳥類 極東ロシアおよび日本の野鳥の生息状態 	池野 進 (日本野鳥の会茨城支部長) タギロフ V. T. (太平洋国立大学) グレグ V. S. (太平洋国立大学)
2017	テーマ「森林環境をとりまく課題」 太平洋国立大学主催 環境フォーラムに参加 <ul style="list-style-type: none"> 日本の住宅における低炭素化の実現性 持続可能な都市と地方 	磯部孝行 (武蔵野大学工学部准教) 吉竹勇太郎 (武蔵野大学工学部環境学科)
2018	<ul style="list-style-type: none"> ロシアにおける環境年の総括 日本の植生 	マイオロワ L. P. (太平洋国立大学准教授) 筑波大学 中村徹名誉教授